

おあじす

第38号
October 2012



■ この町紹介 ～鹿児島県伊仙町・徳之島町～

■ 議会映像配信システム導入事例 福岡県みやこ町

■ 人物クローズアップ 福島の子もたちとつながる宇部の会 代表 木下 文雄さん

巻頭言

白井 義美

最近、私の尊敬する方のメールマガジンで、面白い言葉を知りました。

『月を指す指先を見る。馬鹿』

社長は遠くの月（理想）を一所懸命に説いても、社員はその理想の方向を見ずに、社長の指先、すなわち社長が何を言っていたかという言葉尻ばかりを気にしているということだそうです。

私がすごく立派で優れているわけでもありませんが、この言葉に「そうなんだよな」と納得した自分がいました。

会社は社長の器以上にはならないことはよく分かっていますが、「どうすれば、その言葉の真意が社員に伝わるようになるのか」と、よく考えます。明確な答えは出ていませんが、常に問題意識を持ち、学び続ける気持ちが必要ではないかと思っています。

壮にして学べば、老いて衰えず。

老いて学べば、死して朽ちず

伝記作家の小島直記先生の言葉です。小島先

生は、無類の読書家で、八十九歳で亡くなるまで、本を手放されることはなかったそうです。命が尽きる最期の瞬間まで学ぶという姿勢は簡単にできることではないと理解していますが、素晴らしいし、お手本にしたいと思っています。

どの時代も、どの国でも、またどの組織でも、人を育てることこそ、すべての基本であり、すべての出発点です。人間が仕事をする限り、人間を良くすること以外に、仕事を良くする道はありません。

社員にどうの言うよりも、やはり、社長が率先して学び、成長していかなくては、社員も会社も成長しないということです。

途中で挫折しないよう、「大忍」という言葉を噛み締め、社長自ら本気で社員と向かい合い、是は是、非は非と明確に示せる人になれるよう邁進し、組織を、人を育てていこうと思います。

「時代とともに人々の暮らしは変わっても、
ここには今も昔もかわらない“人々の笑顔”がある」

鹿児島県

いせんちょう

伊仙町

徳之島の南西部に位置する伊仙町。過去に長寿世界一の泉重千代翁と本郷かまと媼の二人の長寿世界一を輩出し、「健康・長寿と子宝の町」、「人情豊かなもてなしの町」をテーマに町づくりが行われています。

亜熱帯特有の味と香りの特産品が多く、黒糖焼酎、パイヤ演、サタ豆、グアバ製品等があります。また、果実は、果物の王様といわれるマンゴー、ドラゴンフルーツ、メロン、たんかん等、豊富に作られています。今年、町制施行五十周年を迎えた伊仙町は人々の温もり、自然の豊かさにたくさん出会うことのできる町です。

伊仙町

人口：7,224人
面積：62.7平方キロメートル
町制施行：昭和37年1月1日
徳之島の南西部、北緯27度40分、
東経128度40分



▲無差別級チャンピオン 基山大宝もとやまたいほう



◆ 徳之島の闘牛

徳之島の伝統文化、闘牛は全島一決定戦が年三回（一月・五月・十月）行われています。また、今年、伊仙町にできる全大候型の闘牛場が完成し、観光闘牛も行われることになりました。

全島大会で十一連勝中の無差別級チャンピオン「基山大宝」に会ってきました。

様々な品種を掛け合わせ、島内で一から育て上げられた「基山大宝」。体重は約一トン。闘牛の中では小さい方ですが、得意技のスピードを生かし、十二連勝を目指しています。十月二十八日に行われる秋場所にそなえて調整中のところ特別に見学することができました。

◆ 観光公園犬田布岬

◆ 戦艦大和慰霊塔

奄美群島国定公園にも指定されている奄美十景のひとつ。東シナ海の風海と波に侵食された断崖がつらなる雄大な眺めは、まさに絶景。美しい夕陽を眺められるスポットとしても知られています。



▶慰霊塔の高さは戦艦大和の司令塔と同じ

第二次世界大戦末期、沖繩特攻作戦で沈没した戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦没将士の英霊を偲ぶ慰霊塔。

慰霊塔や、塔の前方にあるイカリはものすご

◆ 泉重千代翁之像

慶応元年に伊仙町で生まれ。昭和五十四年に長寿世界一でギネスブックに認定されました。その後、昭和六十一年、百二十歳で死去。

長寿の町、伊仙町を象徴する人物です。



◆直売所「百菜」ひゃくさい

生産者約二百名による島内最大規模の直売所「百菜」。地元農家の方々が育てた新鮮な野菜や果物、加工品やお惣菜、パンなどを購入する



ことができ、落ち着いた雰囲気のカフェも人気を集めています。

取材に行った時は、ドラゴンフルーツ、島みかん、島バナナなど、色鮮やかなフルーツがたくさん並んでいました。



▲徳之島交流ひろば ほーらい館

島のフルーツを使って作ったジェラートも人気の一つです。

併設している「ほーらい館」には温水プールやトレーニングジムなどさまざまな施設を備えています。



今回ご案内いただいた
議事事務局 局長 桜山様 (右)、
佐平様 (左)
お忙しい中ありがとうございました。

◆きねんはま 喜念浜海水浴場



サンゴ礁に囲まれたビーチは徳之島の中でも美しいと有名な海水浴場。長さ約一キロにも及ぶ白砂の海岸です。夕方には、砂浜を歩く闘牛の姿を眺めることができます。

今回の取材では、特別に基山大宝(全島一チャンピオン)を見せていただき、その迫力にはとても驚きました。伝統文化を大切にする町民の方々の思いと、豊かな自然に触れることができました。

「豊かな自然と伝統文化を受け継ぎ

人と環境にやさしいまちへの出発」

鹿児島県

とく の し ま ち ょう 徳之島町

徳之島の東部に位置する徳之島町。

明治から大正時代にかけて、全国へ逸材を輩出し「学土村」としても名を馳せた、教育と伝統文化の風薫る町。徳之島の中心地である徳之島町は「南の島のすこやかまちづくり」を進めています。

徳之島町は闘牛や黒砂糖作りなど郷土の文化を大切にしており、「人と環境にやさしいまちづくり宣言」を行い、環境にも配慮した循環型社会の構築を目指し、世界自然遺産登録へ向けての施策も取り入れています。

徳之島町



徳之島小唄記念碑

作詞：名倉幸一郎 作曲：三界稔 唄：田端義夫

人口：11,809人

面積：104.87平方キロメートル

町制施行：昭和33年4月1日

徳之島の東部、北緯27度45分、東経129度



▲花時名展望台より望むスリバチ山と里久浜海岸



▲金見崎ソテツトンネル

◆ かなみさき 金見崎ソテツトンネル

巨大なソテツが長さ数百メートルにわたってトンネルをつくっています。トンネルを抜けると大海原が広がり、奄美大島が見渡せます。

◆ スリバチ山

花時名展望台からの眺めは絶景で、すり鉢を逆さにしたような形から名づけられた、通称「スリバチ山」や奄美大島の島影が一望できます。

◆ 第46代横綱 朝潮太郎記念像

徳之島町出身で第四十六代横綱になった朝潮太郎。徳之島の名を全国に知らしめた横綱として記念碑が建てられました。



◆ 自衛隊殉職者慰霊碑

天候不良により徳之島空港へ目的地を変更し、航行中、徳之島町北部の山中に墜落し、四名の隊員の方が殉職されました。塔の間に見える山が事故現場だそうです。



◆ 亀津闘牛場 (伊藤観光ドーム)

伊藤観光ドームは約四千人収容できる屋根付きの闘牛場です。全島大会では島内外から多くの闘牛ファンが集まります。



◆総合食品加工センター

昨年七月に設立されたこの施設では、島の食材を使った「島ブランド」の商品開発を行っています。

島内産フルーツを使ったアイスクリームや、加工食品。中でも一番力を入れているのはカレーの開発だそうです。

現在は補助事業のため販売はしていませんが、平成二十六年からの店舗化に向けて、開発を進めています。徳之島ブランドの商品化が楽しみです。



◆ゴリラ岩

徳之島町と伊仙町の、町境の県道沿いから見ることで、まるでゴリラの横顔に似ていることから「ゴリラ岩」と呼ばれています。



◆七やま丸 富山丸慰霊塔（なごみの岬公園）

富山丸とは太平洋戦争末期、約四千人

の兵士と大量のガソリンを積んで沖縄へ航行中、鹿児島県徳之島沖で撃沈された悲劇の輸送船です。「なごみの碑」には全犠牲者の名前が刻まれています。



◆あせ 畦プリンスビーチ

現在の天皇陛下が皇太子時代、この浜で遊泳したことから名づけられました。毎年ゴールデンウィークには「黒砂糖祭り」が行われます。



今回ご案内いただいた、地域営業課 琉様（左）、議会議務局 局長 和倉様（左から2番目）、安田様（右）お忙しい中ありがとうございました。

取材当日は台風の影響で悪天候でしたが、色々な場所を案内していただく中で、昔ながらの文化と、大自然の神秘を感じることができました。

人物クローズアップ

「福島の子どもたちとつながる宇部の会」

代表

木下文雄さん

心のしわを伸ばす作業を

やっているんだと思うんです。

今回は、東日本大震災後の福島の子どもたちを救う活動をされている木下文雄さんにお話を伺いました。

日本で起きたことを海外から知る

昨年の震災は青年海外協力隊でマレーシアに行っている一番上の子どもからのメールで知りました。「今日本はすごいことになっていて、とにかくテレビをつける」と。まさか、日本で起きたことの第一報が海外から知らされるとは、情報化時代って

震災直後は

「とにかく行く」と思った

私と妻が結婚したきっかけは自閉症の子どもたちとのボランティアサークルで、三十年来ずっと自閉症の子どもたちのことを見て暮らしてきました。

震災の直後に私と妻は、自閉症の子どもたちは多分避難所にいることができないだろうと思いましたが、家が崩れているなら、一体どこで暮らしているのだろうか？と心配しました。まだ、寒い三月でしたから、多分車の中で親子で過ごしているんじゃないだろうか、あるいは親がまだいてくれればいいですが、親御さんを亡くしたとすれば、この子たちはどんな混乱状態の中にいて、この子たちにわかる言葉で伝えてくれる人が、そばにいないんだろうかと考えた時には、本当にいても立ってもいられませんでした。

住むところが無い、食べるものが無い、寝るところが無い、着るものが無いという状態は危険です



し、非常に不安になります。その上、家族と離れ離れになった、あるいは、職場が崩れてしまった、誰がどこにいるかわからない、携帯も通じない、何も通じないという状態の中で、当然孤立を味わいます。

ですから最初は、「とにかく行く」と思っただけです。ただ、行くかと思うんですが、とても行ける状態ではなかったということに心配ばかりしておりました。



というか、それにまぎびっくりしました。

ボランティア活動

最初の二週間は物流の事をしました。震災直後は、自己完結できる組織が行く、あるいは自己完結できないプロのボランティアが行くしかなかった段階だと思いました。

ボランティア活動の中で、個々の帰属感を取り戻すために何が始まったかと言うと、一番辛いのはご遺体の確認作業です。私はこの仕事以外に全国被害者支援ネットワークというところで、犯罪被害者の方を支援するグループにも入っております、そこからの要請で仙台にしばらく行っていました。大きい体育館の中に棺が何百も並んでいて、発見された当時の写真が全部クリアファイルにまとめてあるんです。たとえば「うちのお父さんはここにいませんか」という情報が来ると、まず服装だとか、体型だとか、年齢好を聞いて、該当するお棺まで一緒に付き添っていくという作業です。最初は警察が全部やっていたんですが、警察の方もくたくたにな

なっていました。

後は、どこの避難所に誰が行っているのか、特に原発の被害のところで言うと、地震は大したこと無かったんだけど、原発被害で逃げ出した人もいっぱいいましたから、誰がどこにいるかという安否確認をしました。

ボランティア活動のルール

ボランティアだからできる事と、やってはいけない事は、会社でやっている事とはほとんど同じような事なんです。まずは自分で考えて自分から進んでやらなければいけない、人に言われてやるようなもんじゃないということです。それから、社会の中で課題を発見してそれに対して自分がどう協力したり、あるいは発信したりできるのか、まさにそういう作業です。

ボランティアをする際の基本は大きな声で挨拶することです。とにかく、人と人とのつながりの中でやっていく事なので、飛び込んでいくしかないんです。飛び込ん

でいくときに黙ってたら、誰も話を聞いてくれません。にっこりと笑って、大きい声で挨拶することです。それから、自分は何処から来て何がしたいんだって事を、きちんと告げることも、必要になります。

それから、ボランティアといっても責任があります。遊びではありません。特に初めてボランティアをやる人だとか、あるいは学生さんたちにお手伝いなんか頼むと多いんですけど、来た友達としゃべってばかりで、照れくさいのもあるんですけど、現地の人からしてみるとしゃべる為に来てもらったわけではないわけです。ところが、東北の人たちは、あれしてくれ、これしてくれとあまり言われないんです。

自閉症の子どもたちを受け入れる

震災後全国のいろんな団体が「来てください」「受け入れます」という報道をしていましたが、自閉症の子どもたちを専門にしたのは、実は

「全国でうちしかなかったんです。」受け入れ」の連絡の際、日本自閉症協会を通して言ったにもかかわらず、信用されませんでした。突然見ず知らずの人から電話がかかってきて、「こういう団体を立ち上げたので、福島から山口に来ませんか、山口の代表です。山口に来ませんか」と言われてもなかなか信用してもらえませんでした。

そこで、私たちは、お母さんたちに向けて自分たちの活動をお知らせしました。お母さんには議事録を送り、子どもたちには宇部はどんな所で、宿泊先とか引越しするのならこんなアパートを用意できるよといった写真をメールで送り続けました。

実際には三大家族がこちらに引越してきました。そのうちの二大家族は雇用促進住宅という厚労省が主幹し



ているところに住んでいます。そこは平成二十六年三月まで家賃が無料です。医療費も福島に住民票を置いていけば無料なんです。

実際に移るときには山口の総合支援学校と宇部の総合支援学校と、それから地域の福祉支援学校を持っていく学校を全部、教育委員会と連携をとりながら見学をさせてもらって、子どもたちと親御さんが納得するところに行つてもらうというところでやりました。そのうちの二名はもう実際仕事についてもらって、事務所で働いていただいています。

今後の支援

この夏、四家族十三名の方が宇部に来られました。宇部市民の方が、古民家を提供してくださり、一週間の滞在中は古民家でゆつくりと過ごしていただきました。その間健康診断を受けてもらいました。甲状腺の検査をしましたが、もう既に子どもたち十三人の中に甲状腺のがんのもとになるしこり

の大きさが三ミリの子どもが二人、絶対になん化するという七ミリのしこりの方が一人いました。チェルノブイリのときには五年経つて一気に出ましたから、かなり早いペースだなと感じています。今後はこのような支援が必要になってくると思います。

連携で心のしわを伸ばす

エンパワーメントについてお話しします。

ストレスでへこんでいるとします。「頑張れ、頑張れ」という情報だけの情報で頑張れますか。これはやっぱり強い理論だと思っんです。例えばピンポン玉はつぶれたら、あったかいお湯につけてあげると、中の空気が膨張して「ぱちっ」と元に戻ります。ポラントイアの仕事だとか人に支援するといふのは、このお湯になることだと思えます。つまり、外から寄り添って、中に残っている力、自分自身に残っている力に気づいてもらっ

て、内側から外に押し出す手助けをすることなんです。「おいやってみる」、「あれやってみろ」じゃなくて、こんなこともできるんじゃないか、これ自分で選んでいいんじゃないかって言いながら、個々にある力を手助けしてあげるんです。つまり心のしわを伸ばす作業を今やっているんだと思うんです。しわは全部消えませんが、やっぱりこのしわを自分のものだと認めて生きていくしかないんです。少しずつ温めてあげて伸ばしていき、だれかの手助けがあつたら、だれかが連携をしてくれたら、少しずつしわは伸びていきます。私たちは、心の端っこのしわくらい伸ばせる活動になつてるとかと思つてやっています。



▲ 7月22日「福島の子どもたちとつながる宇部の会」に義捐金の贈呈を行いました。

お礼の言葉をいただきました。先般きじろくセンターさんには多大なご支援をいただきました。この場を借りて、会員一同代表しまして深くお礼申し上げます。早速四家族の子どもさんたちの健康診断の費用と旅費の一部に当てさせていただきました。この場を借りてご報告させていただきます。ありがとうございました。

鎮魂の思いを込めて

海への森の「植樹祭」に参加

東日本震災で多くの犠牲者が出た宮城県気仙沼市波路上地区で十月七日、「海への森をつくろう会」主催、第一回「植樹祭」がありました。

オープニングは、気仙沼市の明戸虎舞「打ばやし」。力強く迫力のある太鼓の音は、鎮魂の思いと、復興を願う被災地の方々の思いが込められているように感じました。開会式では、市長を始め、大勢の方々からの開催の喜びと感謝の言葉が述べられ、被災地の方々にとっては、長かったのか短かったのか、遠くに住んでいる私にとっては、その気持ちを計り知ることはできませんが、改めて、一年半前の出来事を思い出さずにはいられませんでした。

その後、実際に植える苗の説明と植樹方法を教わりました。植樹をする苗の数は三千本。種類は、タブ、スタジイ、シラカシ、

ヤブツバキ、シロダモ、モミノキ等、地域に育つ照葉樹で、「森の防潮堤」構想を提唱する植物生態学者の宮脇昭氏の指導に沿った、高木と低木を混植する方法です。

参加者は老若男女およそ五百人。二十人程度のグループに分かれ、それぞれのグループの責任者に導かれ、朝方降った雨でぬかるんだ斜面を、足をとられながら上りました。植樹をする場所は、海岸から三百メートルほどの民家の跡地約千平方メートル、地福寺前の「昇天の龍」鎮魂の森」です。ここは、津波で一家三人が流された場所だそうです。本来なら、この辺りは、家や道路などがあり、夜



▲「昇天の龍」

は街灯が点く、いわゆる普通のところだったのに、今は、海が一望できる、目の前には何も無い場所になってしまいました。

グループごとに区分けされた場所に着くと、早速、指導を受けただばかりの手順どおりに、植樹にかかりました。土そのものに栄養が含まれているという粘土質の土は、非常に重たく感じ、わずか二十センチの穴を掘るのにも力の要る作業です。苗は、スコップ二個分の間隔をとり、同じ種類が並ばないように植えていきます。土砂災害が起きないようにするために、下から見上げた時に縦の列が揃わないように植えることにも気をつけます。

最後に、藁の束を利用して、一本一本の苗を優しく挟むように包みます。土が見え

宮城県
気仙沼市



うか大きな森になってください」と願うばかりです。三千本の苗が土からしっかりと顔を出している光景を見た参加者の顔には笑顔があふれ、「やって良かった」「楽しかった」などの声が聞こえてきました。

私たちは、石巻市、陸前高田市、気仙沼市を車で移動し、その際にたくさんの方の被災地をの目当たりにしました。実際に被災地を訪れて一番感じたことは、写真や画面で見ると世界と実際に自分の目で見て感じることは違うということです。臭いこそ伝わりませんが、一年半経過した今でも具合が悪

ないように、そこらじゅうも藁で覆い、土が乾かないようにします。藁が飛ばされないよう、ロープを張り巡らせた後、バケツリレーでの水撒き。到底敵わない自然と共存するために、「ど

くなるほどの臭いを発していました。

かろうじて家の土台が残っているもの、鉄骨やコンクリートが地面からわずかに残っているものを目にし、そこに建築物があったと判断できるだけで、中には跡がたもなく流されてしまったもの、仮に土台があったとしても、草に覆われて何事もなかったように広がっている平地もたくさんありました。仮設住宅や、プレハブのコンビニエンスストア、倒壊した家、ここが同じ日本であることを思わず疑いたくなるような光景でした。

夜になると、津波によって流されてしまったため、街灯の数が少なく、また建築物も少なくなっていることにより、辺りは暗く、静まりかえっていました。本来なら、そこに家や工場や、道路などの街が広がり、夜でも明るい街灯があったはずですが。



みやわき あきら 宮脇 昭 氏

1928年、岡山県川上郡成羽町生まれ。生態学者、地球環境戦略研究機関国際生態学センター長、横浜国立大学名誉教授。1970年、後に「宮脇方式」と呼ばれる、土地本来の植生をポット苗を用いて植える方法による環境保全林造りを初めて新日本製鐵大分製鐵所で行う。この森造りの成功によって、企業や地方自治体など宮脇方式を取り入れた森造りが盛んになった。80歳を超える現在でも精力的に植樹活動の指導を行なっている。『瓦礫を活かす「森の防波堤」が命を守る』の作者。

震災がなければ、植樹をすることはなかったし、植樹のための苗を育てることもなかったでしょう。苗を植えた後の達成感や、「役に立ちたい、力になりたい」という思いを感じる機会もなかったと思います。今、私たちにできることは、震災を忘れないこと、永続的に支援すること、多くの人に現状を発信していくことだと思います。

そして何よりも、一日も早いまちの復興を願ってやみません。

福岡県京都郡みやこ町

支所・ロビーへの議会映像配信開始



▲ 高性能のカメラを4台設置し、最良の角度から議会を中継します。



▲ シンプルな機器構成

▶ 既存の操作卓を改造し、シンプルな操作を損なわないカメラの制御を可能としました。



▲ 一人で、マイクとカメラの制御ができる操作席
カメラは手動での微調整が可能。4台のカメラを一目で確認できます。



◇みやこ町議会様設備のポイント◇

- ・ 既存マイクシステムを**有効利用**しながら、カメラを追加設置。
- ・ 事務局様の負担を少なくするため、操作卓のボタンによってマイクの切替とカメラの動きを制御する**シンプルな操作**。
- ・ 映像配信は**ボタンを押すだけ**。サーバーの操作を必要としないため間違いがありません。
- ・ 今後の**インターネット配信**にも柔軟に対応します。

議場設備のご案内

デジタルレコーダー

回転機構が存在しないため、高信頼の運用が可能となるだけでなく、メンテナンスの手間やコストを大幅に削減することができます。

接点が露出しない構造であるコンパクトフラッシュを使用することで、信頼性の高い音響システムの構築が可能。さらに、汎用性の高いUSBメモリー、SDカードに対応。録音品質を選択できるため、長時間録音も可能となります。



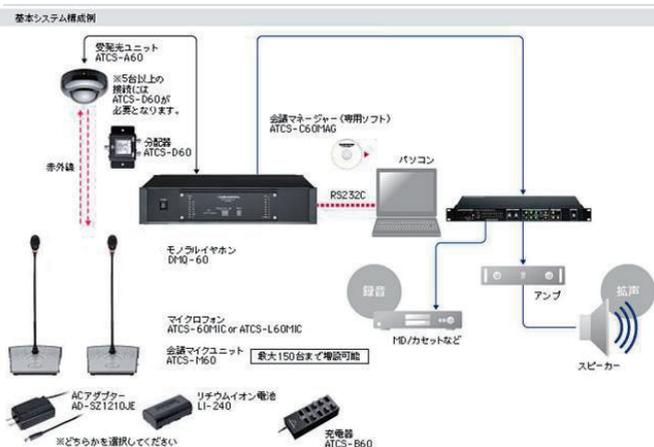
赤外線会議システム

赤外線は壁を通り抜けることができないため情報漏洩を低減し、安心してお使いいただけます。

コードレスのため露出配線不要のスマートな設置が可能になり、レイアウト変更も自由自在です。

最大150台まで増設可能で、大小様々な会議に対応できます。

優れた拡張性能により、導入後の増設も容易です。ご予算に見合った規模のシステムを導入し、必要に応じて増設していただけます。



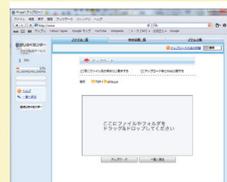
デジタル機器を活用したスピーディーで良質な反訳仕上げをお約束

デジタル反訳

- * デジタルレコーダーで録音された音声データを、インターネットを通じて即座に弊社の音声サーバーへ送っていただけます。
- * 暗号化通信によりお客様の情報を守ります。
- * 特別なソフトのインストールは不要です。



登録は無料
テープ発送の手間を省力化
素早い納品が可能



▲データ転送画面



反訳暦 一年七ヶ月

奥橋 三郎

反訳の仕事を通じ、さまざまなることを学べる。と日々感じております。

新聞やテレビのニュースを見るだけでは知り得ない地方の現状や、国の政策を学ぶことができます。そして、こんな言葉があるのかと、日本語の表現の豊かさについて触れることもできます。

加えて、一語一語を細かく聞き取る作業は集中力を高めることができます。と感じます（少なからず疲労しますが……）。

また、議員さんと執行部の方々のやり取りを通じ、物事の論じ方、反論に冷静に対

処することなどについても学べます。少々熱くなっている議員さんに、執行部の方々が冷静沈着に答弁されるときは感心します。特に首長さんは、厳しい質問にもほぼ例外なく落ち着いて答弁され、人の上に立つ方はやはりどこか違うのだなと感心してしまいます。

反訳暦 二年七ヶ月

酒井 ますみ

一般的にはなじみのない「反訳」という言葉に出会ったのは、二年半前のことでした。子供たちが学校に行っている間に仕事ができるならと始めましたが、実際にやってみると本当に大変な仕事でした。音声も少し聞いては用字例を引き、また聞いては用字例を引きと、慣れない頃は本当に果てしない工程でした。

まだまだ反訳分数に一喜一憂する私ですが、長時間のパソコン作業に悲鳴を上げる肩や腰を整骨院でほぐしてもらいつつ、心に余裕を持って、いい仕事ができるように、これからはがんばりたいと思います。

反訳暦 十五年十ヶ月

林 寿美恵

この仕事は毎日テストを受けているようで、精神面はもちろんです。が、体力的にもハードです。忙しいときはなかなか話せませんが、議事録の仕事をしている人にしかわからない悩み、また反対にうれしかったことなど、わかってくれる友達がいてくれたからこそ続けてこられたのだと思います。

ベテランの方から「反訳は頭で聞くもの」と言われたことがあります。確かにこの仕事は専門用語など難しい言葉がたくさん出てきます。知っていれば聞きとれる言葉も、知らない、何を言っているのか、さっぱりわからないことがあります。今はインターネットが普及していますが、始めた当時は辞書と悪戦苦闘していました。

今までに全国津々浦々の反訳をしてきました。風光明媚な場所、特産品、まちの様子をたくさん知ることができ、ホームページを見ながらここにも行きたい、あそこにも行ってみたいとよく思います。

いつか支えられた友達や家族と、反訳で携わった場所にのんびりと行けたらいいなと思っています。

社内大会



八月二日、第三十四期社内大会を行いました。

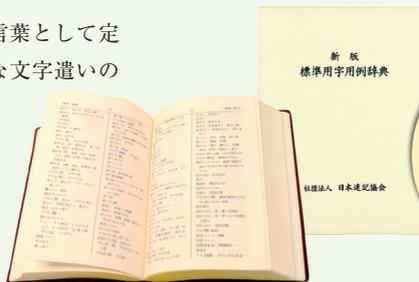
社長講話では社是・経営理念についての話がありました。社是である「社風造人」は、「校風造人」という言葉からとったものです。この言葉は日清・日露戦争で活躍した陸軍大将でもあり、現在の松山北高等学校に校長として就任していた秋山好古の言葉です。「校風が人を造る」、これは会社でも一緒であり、「社風が人を造る」という意味です。この社是・経営理念は、毎朝の朝礼で社員全員で唱和しています。

その後に行われた表彰式では、十五年以上勤務の在宅オペレーターの表彰がありました。

最後はみんなで輪になり、弊社のイメージソングを合唱して社内大会は幕を閉じました。

新版「標準用字用例辞典」に準拠しています。

話し言葉を書き言葉として定着させる際の的確な文字遣いの参考となるもので、速記者や発言記録作成者必携の辞典です。



すべ(術) 手段方法
すべからく(顔)
全て(凡、総) (すべて)
滑り込む 滑り込み
滑り出し
統べる(すべる) まとめ
統べくくる

議会 会談検索システム

トピックから検索

- 政治経済
- 社会
- 生活
- 教育
- 健康
- 環境
- 文化
- スポーツ
- 観光
- 交通
- 防災
- 国際
- その他

FAQ と会議録のリンク

- ・ 議決内容に関連する公開 Q&A を参照。
- ・ 対象 Q&A に関する質疑・答弁・議決結果を参照。

会議録 / 議会映像公開サービス

Discuss シリーズ ディスカスシリーズ

会議録検索システム

ディスカスネットプレミアム (ASP)

インターネットを通じて会議録の中から必要な情報を高速検索。
導入実績 No.1 システム「Discuss」が進化しました。
「DiscussNet Premium」は住民サービスの向上、効率的な議会運営を実現する会議録検索システムの APS サービスです。

議会中継 録画

平成21年第4回(12月)定例会日程

月日	本会議	特選	継続内務
12/7(水)	一般質問 1時	08:30-09:00	◎
	一般質問 2時	09:11:00	◎
12/9(金)	一般質問 3時	08:30-09:00	◎
	一般質問 4時	09:11:00	◎
12/10(土)	一般質問 5時	08:30-09:00	◎
	一般質問 6時	09:11:00	◎
12/10(土)	一般質問 7時	08:30-09:00	◎
	一般質問 8時	09:11:00	◎

議会映像配信システム

ディスカスビジョン ネット (ASP)

本会議の様様をライブ中継と録画中継で配信。
議会映像と会議録が連動した議会映像配信の APS サービスです。
自治体に対する情報公開の流れが加速する現在、高まるビジュアルな情報へのニーズに応えます。

お助けの FAQ

MatchWeb

Q&A と調査情報のリンク

- ・ 対象 Q&A の根拠となる調査資料などを参照。
- ・ 登録資料や新聞記事に関連する公開 Q&A を参照。

議会向け Q&A 公開サービス

MatchWeb マッチウェブ

日々寄せられる問い合わせや FAQ を有効活用することにより、住民問い合わせの一元管理および業務コストの削減と住民サポートの品質向上を実現するトータルソリューション。
住民からの問い合わせに短時間、高品質で対応できるようになります。

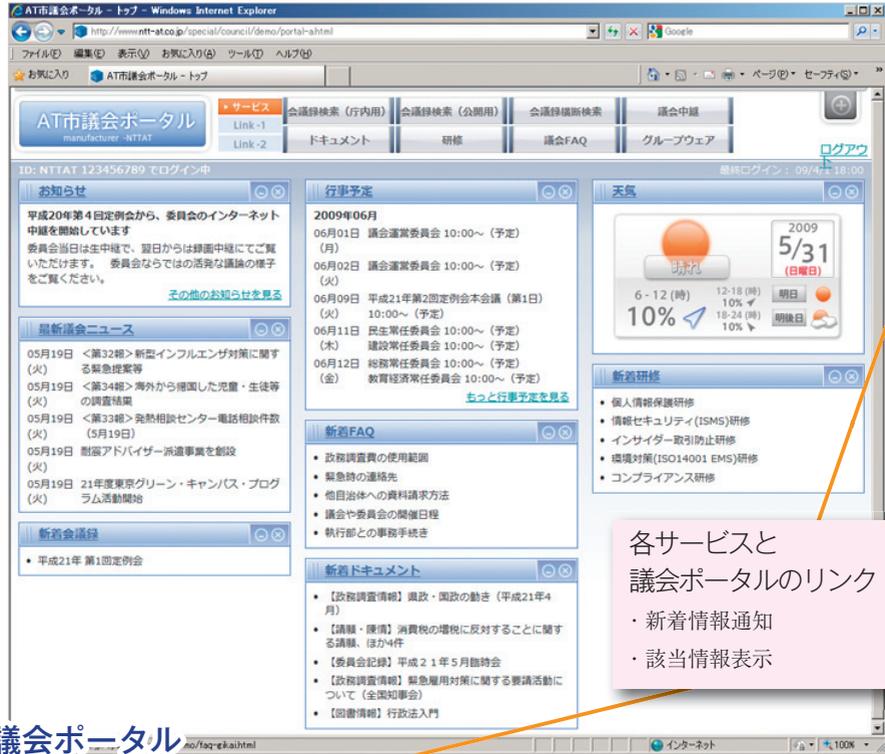
これらのサービスを相互連携させ、各システムの総合窓口となるポータル画面から住民／職員が各システムに格納されている情報を縦横無尽に検索できたり、知りたい情報とそれに関連する情報へのリンクをまとめて表示させることができます。

※1 必要な機能のみを必要ときに利用できるソフトウェアの形態 ※2 業務上の問題点の解決や要求の実現を行なうための情報システム

議会運営のコスト削減と業務の効率化、住民サービス向上を同時に実現

SaaS型 議会ソリューション

■ (株)ぎじろくセンターは、システム導入および運用コスト削減と職員の業務効率化、さらには情報公開の促進、住民サービスの向上を一度に実現する『SaaS型 議会ソリューション』を2010年4月よりご提供しています。



議会ポータル



会議録内容と調査情報のリンク

- ・各種調査情報をもとにした質疑・答弁・議決結果を参照。
- ・本会議録および委員会記録から、根拠資料や請願書等を参照。

政務調査情報検索サービス

PowerFinder / ASP

パワーファインダー (ASP)

ペーパーレス化を実現し、多彩な検索機能と強力な文書管理機能で庁内や議会事務局に蓄積された知識・情報を多角的に管理し、情報の利活用の促進および業務効率化を支援するツール。議会業務の効率化、省力化、情報伝達の迅速化を実現します。

DiscussWeb (ディスカスウェブ)

住民参画型の議会ホームページが簡単・スピーディーに作成できる議会情報公開用 CMS



景気低迷による税収不足、人口減少、少子高齢化や過疎化など、地方自治体がおかれた状況は厳しさを増しています。それらの問題をスムーズに解決するためには、地方議会の積極的な情報公開や情報発信、そして世の中の多様化する価値観を反映する住民の議会参画が不可欠です。

NTT-ATの議会情報公開用コンテンツマネジメントシステム「DiscussWeb」は、議会映像配信&会議録検索機能や、住民が利用しやすいSNS機能（TwitterやFacebook）をひとつのポータルサイトにまとめることで住民の議会参画を促し、議会改革推進を支援します。

DiscussWebが議会改革をバックアップするポイント

POINT

オープン・フェア・フリー化の実現で住民参画を促進

議会映像配信や会議録検索で議会のオープン化を実現。SNSで住民の意見を募ってフェアに議論を活性化させたり、住民みずからが議会内容をSNS発信するフリー化も推し進めます。

POINT

早稲田大学マニフェスト研究所監修の議会専用CMS

議会改革のオピニオンリーダーである早稲田大学マニフェスト研究所が監修。最適化された議会情報の項目・内容・構成・アーカイブなどにより、どなたにでも簡単・迅速に「開かれた議会」を実現します。

POINT

簡単・スピーディーな更新で議会事務局の負担を軽減

専用ソフトは不要なため、ネットに接続されたPCがあればいつ、何処からでも管理できます。議事録の作成・更新や議会映像の登録も簡単なため、どなたにでも扱うことができます。

住民がつくる街。住民に見える議会。

安心と信頼のNTT-ATが、ICT活用で議会改革を支援します。



① 自治体専用 CMS “Joruri” を採用 *

- オープンソースのため、初期導入費がリーズナブル
- 豊富な自治体専用テンプレートがあらかじめ揃っており、導入や更改がスピーディー
- 言語に国際標準化を目指して開発が進められている国産プログラミング言語 “Ruby” を採用

② 弊社製品 Discuss との連携が可能

- Discuss 会議録検索システムとの DB 連携により、“暮らし” “福祉” “教育” などの分類での情報検索が簡単、スムーズ

③ SNS (Twitter, Facebook 等) との連携が可能

- 震災時の情報共有にも活用された SNS との連携により、自治体と住民がリアルタイムかつ安定した情報共有が可能

④ 万が一の際にも安心のクラウドサービス

- サーバーなどの初期投資が不要なため、運用も低コスト
- 災害時においてもさまざまな場所から情報更新ができるため、万が一の際にも地域情報の発信が継続可能

* Joruri は、徳島県と株式会社アイ・ディ・エスが共同開発した自治体サイト専用のオープンソース CMS です。
* 「DiscussWeb」は、これまで「GIKAI-web」と称していたサービスの名称を変更したものです。

会議録作成支援システム

VoiceAir

議会の会議録作成業を快適にする、音声認識パッケージ



Point 1 オールインワン型パッケージ※1で、簡単導入!

システム構成イメージ



既存音響設備※2



SDカード

採録した音声・映像データをSDカードなどでVoiceAirに取り込むだけ



会議録作成支援システム
VoiceAir

—— オールインワン型で提供 ——

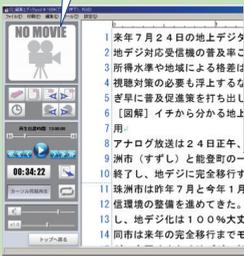
※1 パッケージには以下の物が含まれています。

・デスクトップPC一式(付属品含) ・OS一式 ・Microsoft Officeソフトウェア一式 ・VoiceAirソフトウェア一式

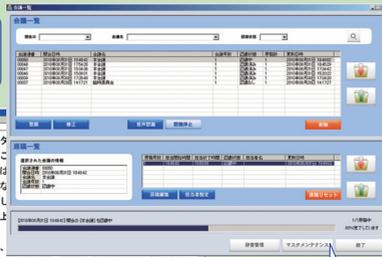
※2 オプションで音響設備の提案、提供も実施します。

Point 2 分かりやすいインターフェイスで、簡単操作!

カーソルの位置と音声・映像との連動が可能なので、映像を見ながら直接編集が可能



- 1 来年7月24日の地上デジタル
- 2 地デジ対応受信機の普及率
- 3 所得水準や地域による格差は
- 4 視聴対策の必要も浮上する
- 5 ぎ早に普及促進を打ち出し
- 6 【図解】イチから分かる地デ
- 7 用
- 8 アナログ放送は24日正午、
- 9 洲市(すずし)と熊谷町の一部で、全国に先駆けてアナログ放送を
- 10 終了し、地デジに完全移行する。
- 11 珠洲市は昨年7月と今年1月に段階的にアナログ放送を休止して受
- 12 信環境を整備を進めてきた。同市企画財課は「実験も順調だった
- 13 し、地デジ化は100%大丈夫」と自信をみせる。
- 14 同市は来年の完全移行までモデルケースとして問題点の検証を行う



使いたい機能が一目で分かるボタン配置

画面イメージ

システムの特長

【高認識率を実現するための機能】

- 認識精度を向上させるため、地名・人名・方言などを辞書に登録する機能
- 次々に入れ替わる話者の自動認識機能
- 事前に個別の音声进行学习することなく利用可能

【豊富な編集機能】

- 映像・音声と連動してカーソルが移動するため、編集作業の効率アップ
- 修正したい箇所を指定すると、その箇所から映像・音声再生可能
- 特定のキーワードをハイライト表示
- よく使う機能をショートカットキーに登録することで、編集作業をスピードアップ

Point 3 認識率の事前チェックで、安心導入!

導入までの流れ

システムのご説明

コンサルティング

・認識率の測定、結果のご報告 ※3

・お客さまごとに最適なご提案の実施 ※4

導入のご決定

※3 過去数時間分の会議の音声データと会議録のテキストデータのご準備をお願いします。

※4 会議録のテキストデータのご準備をお願いします。

「VoiceAir」は、NTTが開発した音声認識エンジンVoiceRexを活用しています。

●VoiceAirは、東日本電信電話株式会社商標登録出願中(出願番号:2010-58880)です。

●本システムの音声認識技術の一部に、京都大学河原研究室の技術を利用しております。 ●この文書の一部または全部を無断で使用、または複製することはできません。

●Microsoft Officeは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

お問い合わせは情報システム部まで

中学生職場体験

ことしも、地域社会への貢献活動の一貫として、中学生二人の職場体験の受け入れを行いました。

内容としては、前半は議事録に関する部署で、「会議録とは」から始まり、デモ音声を使い実際に反訳を行ってもらいました。

途中「なかなか進まない」と、嘆きの声がか聞こえそうでしたが、時間いっぱいまで反訳を行ってもらい、「これほど大変な事だとは思わなかった」との感想でした。

後半は、デザインに関する部署で、毎年恒例の自分の名刺を作成してもらいました。

こちらでは、自分でデザインした物が、自分の名刺になることもあって、前半とは打って変わって、イキイキとデザインを考えて、名刺作成に取り組んでいました。

生徒達の思い



は、将来パソコンに関わる仕事がしたいとの事でしたが、どんな仕事をするにしても、パソコンの基礎知識は必須であることを伝えました。

今回の体験が、生徒達の将来を考える上での判断材料の一つになればと思います。

サバ飯作り

当社では災害に備えBCP（事業継続計画）マニュアルを作成し、防災活動に取り組みんでいます。防災意識を高めるために



「サバ飯作り」にチャレンジしてみました。「サバ飯」とは「サバイバル・メシタキ」の略で、防災科学技術研究所（茨城県つくば市）の研究者、内山庄一郎さんが考案した、空き缶を使った非常食調理術です。非常時に知恵と工夫でどう生き延びるか、そして協力して助け合っこの大切さを学ぶことができました。

社員旅行

今年の社員旅行は二班に別れ二泊三日で沖繩へ行ってきました。

ミンサー織という伝統文化や戦争の歴史など多くのことを学びました。また、

石垣市議会事務局を見学させていただきとても勉強になりました。



石垣市議会事務局 議場にて



首里城にて

社風造人

この春、高校を卒業したばかりの三人の新人社員を迎え、はや半年が経とうとしています。

今は業務と共に、学生と社会人との違い、ぎじろくセンターの社員としての教育をしている真つ最中です。そして、人に何かを教えるたびに、教えることの難しさを感じているところです。

人に教えるということは、自分がどれだけ理解しているのかを試されているような気がします。自分にとつて、あいまいなどは、あいまいにしか教えることができません。質問されても、きちんと答えることができません。そして、教わる側が、その場では分かったとしても、果たしてどれだけ理解できたのか、不安になるときもあります。

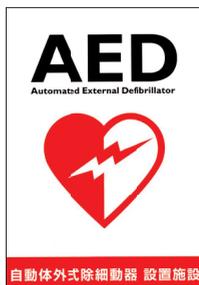
時には、自分自身がきちんとできていない事を棚に上げて、指導しなければならぬ時もあり、改めて、自分もきちんとしなければと、思い返すことも多々あります。

教えるということは、相手を育てるといことが第一なのかもしれません。自分自身を振り返り、教える相手の常に一歩も二歩も先を歩まなければならない、自分自身の向上のためではないかと思えます。

その気持ち忘れず、これからも、お客様に対して、きめ細やかなサービス、良い製品が提供できるように、自己の向上、社員教育をさせていただきます。

AED設置

社内にAED（自動体外式除細動器）を設置。使用方法について社員研修を行いました。



表紙の説明

題字 **おあしす**
フジマグループ藤麻功会長
写真…「植樹祭」で植樹した苗



チャリティゴルフ

去る9月22日、宇部市の常盤ロイヤルカントリークラブにおいて、チャリティゴルフ大会を開催し、収益の一部を東日本大震災の義捐金として寄付させていただきました。



おあしす (2012 第38号)

平成24年10月15日発行(年2回発行) 創刊平成5年3月1日

発行人 白井 義美

発行所  株式会社ぎじろくセンター

本社 〒755-0192 山口県宇部市西岐波 1540-12 TEL 0836-51-6191 FAX 0836-54-0001

URL <http://www.gijiroku-center.co.jp/> e-mail info@gijiroku-center.co.jp

東京営業所 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3丁目3-5 三友常盤ビル 8F 山口県東京ビジネスセンター内

TEL 03-3516-8911 (代) FAX 03-3516-8933



JQA-QMA14039



10861698

